

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

外来血液透析患者の透析時間延長・短縮に関する因子の検討

2. 研究責任者(当院)

所属：看護部 認定看護室 透析センター

氏名：永田 愛子

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：なし

代表名：なし

3. 分担研究者

所属：看護部 認定看護室

氏名：高野 弘栄

4. 研究対象者

2024 年 04 月 01 日～2024 年 07 月 31 日の間に、聖隷佐倉市民病院において外来血液透析治療を受けた方。

5. 研究の必要性

週 3 回の血液透析では、4 時間以上の透析治療が推奨されている。当院の外来血液透析患者の透析時間の割合は 4 時間透析が最も多い。しかし、透析中の血圧低下や下肢つれなどにより透析時間短縮になることもある。逆に体重コントロール不良等により透析時間延長や元々の透析クールに追加して臨時透析を行う場合もある。透析時間の短縮や延長、臨時透析を行った患者の現状を把握し、それに関する因子を検討することで患者にとって透析中の血圧低下や下肢つれなどの苦痛となる症状が出現することなく透析治療を継続するための方法を検討することができると思われる。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

透析時間の短縮や延長、臨時透析を行った患者の割合を把握し、それに関する因子を検討することで透析時間の短縮や延長、臨時透析を起こしやすい条件が推測できると考えられる。患者の透析経過を予測し、予防的に昇圧剤等の内服、投与を検討し、効果的な除水プログラムの検討をすることは透析中の血圧低下や下肢つれ等患者の苦痛となる症状の出現を防ぎ、本来予定されていた治療時間を維持することは患者の生命予後にも関連するため患者にとって有益だと考える。透析時間の延長、短縮なく治療が終了することは、生活者として生活する患者の日常のスケジュール調整を支えるという点でも重要だと考える。

また、当院の透析クールは午前、午後の 2 クールを月～土曜日まで実施している。予定されていた時間に治療が終了し、患者が帰宅できるという状況は、その日の透析センター内の看護師の配置にも影響するため重要だと考える。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151

担当者氏名：永田 愛子

対応時間：8 時 30 分～17 時 00 分

共同研究において専用窓口がある場合

なし